KENTO OKAYAMA
オシオ!2
君の潮が欲しいので吹かせてもいいですか？

キミシオ！2
君の潮が欲しいので吹かせてもいいですか？

高校一年生
有栖川(ありすがわ)アリス
一度でいいから
絶頂を経験してみたい彼女は
科学部の扉を叩いた

キミシオ！2
君の潮が欲しいので吹かせてもいいですか？

すごいですね
これ…
ぽろ
ぽろ
はっ
はっ
全然動けないです…

ぬ　濡れるに
決まってるじゃないですか！
こんなエッチな恰好
してるんですから！
カァ…
キュン
キュン
じゅわ…

ぴっ
ぴっ
んっ
ぴく…
なんか
不思議なモノが
出てきましたね――…

ビクンッ
おっ!!?
チュ
オ!!
ビクンッ
ビクンッ

これがイクってことなんですか…？
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
はっ
はっ
んっ…
ガク
シャワワワ
勝手にガクガクしちゃいます…
ガクン

ふぇっ!?
ドクッ!!
ドキン
ドキン
ドキン
ドキン
ドキン
キュン
キュン
ガクン
ガク
せ 先輩が触るんですかっ!?
やばい…急にドキドキが…

んひぃ…
ビクン
ビクビク
にゅ
キュン
キュン
ガクン
ガクン
優しい…

あっ
ビクン
ビクン
あっ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
ビクン
くちゅ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
いつも怖くなって…
あっ
途中で止めちゃうんです…
あっ
ひっ
…？

あっ…
先輩…ダメ…
怖いの…くるっ

ドクン
ドクン
ドクン

ビクッ
ビクッ
ビクン
ぱっ
ぱっ
ぷぷ…
にゅ
もみ…
先輩…
できれば乱暴に
してください…
優しくされると
好きになっちゃう…

もうちょっと
下…です…
あっ…そこ…
入ってくるぅ…
ビクン
ビクン
ぬっ…
グッ
ぐっ
ぐっ
ぐっ

上のところ…
気持ちいい…♡
ビクッ
ビクッ
ぬ…ぐっ
グチュ
グチュ
グチュ
グチュ
グチュ
ぐっ…
ガクッ
指で
掻き出される…♡
ビクッ
くぃっ…!!
ガクッ

あっ!!
また吹きます!!
グチュ!!
グチュ
プシ
グチュ
プシ
グチュ
グチュ
!!
イク…っ
イクイク…
ズン
ズン
ズン
ズン
ズン
ズン
ズン

イクッ!!

ブルン
ブルン
ブルン
……ン
ガシ
ムニ
キュン
キュン
ムニュニュニュ
ガシ
ガシ

キミシオ！2
君の潮が欲しいので吹かせてもいいですか？

先輩…
この体制はダメです…
快感から
逃げられない…

あっ…
なるほど…
ばっ
ばっ
ばっ

ビクン
ブブブ
ズ
ズズズ!!

かはっ!!
これダメッ!!
ビクッ
ビクッ
ヴィ
ヴィ
ヴィ!!!
ヴィィ
ヴィィ
ヴィィ

ダメぇっ!!
ビクン
ビクン
ビクン
ビュ
ビュ
ビュ!!

先輩っ!!
イきました!!
止めて下さいっ!!
また…くるっ

ビクン!!
ガクン
イク…
んっ
ヌチャ
ヌチュ
ガクン

ガクン
ガクン
ガクン

ブル
ブル
ブル
ブル
……っ
ぷしゅ…
ぷしゅっ…
ぷしゅっ!!

ズ
クッ
ブル
ブル
ブル
ビュッ

キミシオ！2
君の潮が欲しいので吹かせてもいいですか？

先輩…
もろん…
はっ
はっ
くちゅ…♡
最後は
先輩でお腹いっぱいに
なりたいです…

ビクン
ビクン
おっ!!
ゴッ
ドッチュ!!

あっ……くっ♡
ぶるん
ぶるん
ガク
ガクン
ギュウウ
いじわる…♡

奥がトントンされて…
ビクン
ビクン
気持ちいい…♡
あっ
ズッ
ズッ
ぴちゅ
ぴちゅ
ぴちゅ

あっ!!
ごめんさないっ…!
ビクン
ビクン
バチュン
バチュン
バチュン
バチュン
一度イキますっ…!

イッ…イグ!!
ビクン ビクン
ビクン ビクン
ガクン
ガクン
キュン♡
キュン♡
ヌルヌル!!

あっ
もうダメっ!!
ビクン
ビクン
ビクン
ドチュン
ドチュン
ドチュン
最後イクッ!!

ズブブブ
ビクンビクン
ヤバイくっ
ミルクがぁ

キミシオ！2
君の潮が欲しいので吹かせてもいいですか？

先輩…っ…
ぬりぬり
ぬりぬり
はっ
はっ
お潮…
たくさん採れましたか…？
クシ

んふっ…
よかった…♡

先輩…
大好き♡

キミシオ!2
- 君の潮が欲しいので吹かせてもいいですか？ -

イラスト

KENTO OKAYAMA

シナリオ

KENTO OKAYAMA

ATOGAKI

こんにちは、KENTOです。

「キミシオ2」をご購入していただき、誠にありがとうございます！
今回も、潮吹きを中心にエッチシーンを描きましたが、いかがでしたでしょうか？

さて、前作の「キミシオ」のあとがきで、「エロ漫画家になるのは諦める」なんてことを描いたが、まさかの成人向け雑誌で商業誌デビューを果たすことになった。
前作のキミシオ発売後に、複数の出版社から連絡が来て、漫画を掲載させてもらえることになったのだ。以前、出版社が開催するコンテストに応募したり、原稿の持ち込みを行っていたため、それがきっかけとなった。コンテストでは落選し、持ち込みでは散々の評価だったため出版社から連絡が来たのは、まさに青天の霹靂だ。なんにせよ、せっかく舞い降りたチャンス、やらないわけにはいかない。だが、デビューを果たしたと言っても、この状況がずっと続くとは限らない。漫画を描くのが嫌になるかもしれないし、出版社から打ち切られるかもしれない。それに、元々僕は漫画を描くことに強い抵抗を持っていた。複雑な背景は描きたくないし、コマ割りを考えるのは大変だし、いろんな構図で描くのは疲れるし…。だから、「キミシオ」のような、「一枚絵フルカラー+差分」で制作する手法をとっている。それに、フルカラーのエッチ絵は描いていてとても楽しい。

そもそも僕は、長い時間を掛けて制作することに向いていない。過去に何度も、膨れ上がったアイデアを実現しようとして挫折してきた。その結果、「コンパクトに作って、コンスタントに出す」のが今のスタイルになった。
人には、「飽きるまでの時間」がある。それを理解しないと、「超大作」ばかりに気をとられ挫折を繰り返してしまう。「自分はどれだけの時間一つの作品に集中できるか」を見極めることで、作品を完成させる癖をつけることが大切だ。どんなに素晴らしいアイデアを思いついても、それが世に出なければ存在していないのと同じなのだから。それに僕たちは、ロボットではなく人間だ。疲れもするし、飽きもする。

僕は、「KENTO OKAYAMA（オカヤマ ケント）」という本名で活動している。本名で活動している理由は、大きく２つ。「気に入っている名前」であることと、「自分の身代わりが有名になるのが許せない」ことだ。
僕は、「オカヤマ ケント」という名前の響きが、世界で一番かっこいいと思っている。まあ、簡単に言えば自分が大好きなのだ。もう一つの、「自分の身代わりが有名になるのが許せない」のは、仮に僕が「タナトス」というペンネームだとしよう。もし、「タナトス」として有名になった場合、「僕、タナトスじゃなくて本当は『オカヤマケント』なんだけどなあ」とモヤモヤすることになるだろうと思ったから、本名で活動することにしたのだ。

本名で活動してるもんだから、家族は当然、僕がエロイラスト・エロ漫画を描いていることを知っている。昔から両親は、僕がやりたいと言ったことを素直にやらせてくれる人たちだった。だからこそ、会社を辞めてフリーランスになった時も、反対されることはなかった。ただただ、僕の決断を信頼して見守ってくれているのだ。だが、なんの根拠もなく信頼してくれていたわけではない。勉強は真面目にしたし、親から「これはやっといた方がいい」と言われたことは、素直に実行した。信頼される行動をしていたからこそ、信頼してくれていたのだ。

正直言うと、僕は環境に恵まれていた。いろんなスポーツの習い事をさせてくれたし、専門学校にも行かせてくれた。会社を辞めた時は、一時的に実家で生活させてもらった。しかし、僕がこうしてフリーランスとして生活出来ているのは、恵まれていた環境にあぐらを掻かなかったからだ。専門学校時代では必死に勉強して、３つのゲームコンテスト賞を受賞した。自分の武器を増やすため、5年前から絵を描くことを続けてきた。フリーランスとして活動するため、社会人一年目で150万円を貯めた。フリーランスになってから7カ月、ほぼ毎日絵を描き、営業し続けた。自分が稼げる道を探して、イラスト、同人、漫画に挑戦した、数々の失敗を経て、同人と漫画が身を結んだということだ。といっても、今も裕福に暮らせているわけではない。活動初期に比べてちょっと収入が増えただけで、ギリギリの生活であることには変わりない。

筆を置いたら、終わる。
描くのを止めたら、終わる。
僕の原動力は、いつだって「危機感」だ。

ようやくフリーランスの絵描きとして、スタートラインに立つ権利をもらえたのだ。
後は、自分にやれることを精一杯やるだけ。

これから先、何かを失敗するたびに僕は言うだろう。

「成功するのは、まだ今じゃない」

…と。

改めて、「キミシオ」のご購入、誠にありがとうございました！
また、次回作でお会い出来たら嬉しいです！！
それでは！

★発行日：2021/4/29　★作者：KENTO OKAYAMA
! 本誌の無断転載、複製を固く禁じます。

お問い合わせ&感想はこちら！

★E-Mail
kentookayama145@gmail.com

★ウェブサイト
https://kentookayama.jimdofree.com/

Twitter

Pixiv